



湾

に面し、複数の河川が筋状に流れる大阪は、古くから「水の都」として発展してきました。その歴史のなかで、大きな役割を担ってきた河川のひとつ、堂島川沿いに誕生した新しい街が「ほたるまち」です。ほたるが舞つ、かつての川の、夏の風景を思い起こせるように、という願いを込めて名づけられました。

南に歴史と文化の中心地・中ノ島、東にビジネスと商業のエリア・梅田、北から西にかけては、近年注目を集めている福島といった、主要エリアに囲まれたこの地は、以前は

大阪大学医学部付属病院でした。病院の移転後、大阪市の跡地利用懇談会から「水の都・大阪の復活につながるまちづくりを」という提言を受け、新しいまちづくりがスタートしたのです。

この開発事業は、「水都・OSAKA プロジェクト」と名付けられ、堂島川との親水性を念頭に、様々な人が交流する都市空間を目指して、進められてきました。朝日放送の新社屋や住居棟、商業施設、ホール等、多種多様な要素が整備されています。「情報発信」、「賑わい」、「都心住居」の三つの機能を持ち併せた魅力的な水辺の街、「ほたるまち」。あとは本格始動を待つばかりです。

水辺に憩う

ほたるまち
大阪市福島区

夏 Summer



デザイン事務所「FLAME」のアートディレクター、古平正義氏がロゴを担当。都会的ななかにもあたたかみのあるデザイン



上 / 公的空間「フォーシーズンズプラザ」。床面に水を流し、打ち水効果が期待できる水の膜を作っている中 / ほたるまちと堂島川間の遊歩道。街の親水性を高め、憩いの空間となっている
下 / 高層マンション「The Tower Osaka」のまわりには、低木や草花等を植え込んだスペースがある。ちょっとした散策にもぴったり